

決 議

私立の高等学校、中等教育学校、中学校、小学校は、建学の精神の下、常に時代の進展と社会の要請に応じて特色ある教育を展開し、我が国の公教育の発展に貢献してきました。

我が国が、進行する少子高齢化の中で、今後も持続可能な社会を継続させるためには、Society5.0時代を担う子供たちに、新しい時代に相応しい資質・能力を身に付けさせることが必要であり、そのための教育環境の整備が最重要課題となっています。

とりわけ、今般の新型コロナウイルス感染症の流行により、逆に鮮明になった学校教育のデジタル化の遅れを取り戻すために、公教育の共通基盤となるICT環境の整備が急務であり、「1人1台端末」の整備や高速通信ネットワークの実現などが喫緊の課題となっています。

しかしながら、私立学校が時代のニーズに対応した教育環境の整備を図りながら、感染症対策を始めとする新たな対応を徹底するには、経常費助成と学納金によって支えられている私立学校の運営にとっては誠に厳しいものがあります。

つきましては、本日ここに、私立高等学校等関係者並びに保護者の総意において、公教育における公私間の様々な格差の是正を目指し、その速やかな実現を期して、下記の事項について決議いたします。

記

- 一、私立高等学校等の経営の健全化、保護者負担の軽減及び教育諸条件や施設設備の整備のため、私立学校振興助成法に基づく所要の補助金等の大幅な拡充を図ること
- 一、学校教育のデジタル化の実現に向けて、私立学校におけるICT環境の整備を促進するため、所要の補助金等の大幅な拡充を図るとともに、「GIGAスクール構想」を高等学校段階まで拡大すること
- 一、私立高等学校等施設の耐震化の早期実現と既存の施設設備の更新、長寿命化のため、所要の補助金等の大幅な拡充を図ること
- 一、私立学校保護者の負担軽減及び公私間格差是正のため、私立高等学校等就学支援金制度の拡充と私立小中学校等就学支援金制度の恒久化を図ること

令和2年11月4日

私学振興全国大会